



京都議定書

項目分類



被害

世界各地で強い台風、ハリケーン、サイクロン等の異常気象が増加。また、マラリア等の熱帯感染症の増加が考えられる。さらに、北極や南極の水床が融解し、海面水位が上昇。高潮や浸水等、沿岸地域への生活に被害が及ぶ。異常気象や海面水位上昇は生態系への影響を及ぼす。

オイルショック

項目分類



詳細

中東戦争の影響を受け、日本への原油輸出制限により、国内の石油製品高騰につながった。中東戦争を引金に、イスラエル支援国家であったアメリカと友好的な関係であった日本は、石油の輸出制限をかけられてしまった。その結果、石油製品を(トイレトペーパー等)を買いあさり、混乱状態に陥った。

	水質汚染	水質汚染	大気汚染	健康被害
四大公害病	イタイイタイ病	水俣病	四日市ぜんそく	カネミ油症
項目分類	水質汚染	水質汚染	大気汚染	食油混入
原因物質	カドミウム	メチル水銀	硫黄酸化物	PCB(ダイオキシン類)
症状	骨軟化症 腎機能障害	手足の震え 聴力障害 運動失調 平衡機能障害	感覚障害 神経障害 視野狭窄 言語障害	気管支炎 咽喉頭炎等、呼吸器疾患 肺気腫 気管支ぜんそく

足尾銅山鉍毒事件

項目分類



詳細

渡良瀬川周辺で、明治期に起きた「日本の公害の原点」ともされる公害事件。1880年頃、足尾銅山の製錬所は有毒廃液や鉱道ガスを排出し続けた。これにより、足尾町近辺の山は禿山になり、木々を失った土地は次々に崩れ、渡良瀬川流域の魚の大量死や、農業被害が相次いだ。また、その問題は21世紀となった現在も続いている。

中国から飛来したPM2.5が社会問題に
環境省が二ホンカワウソを絶滅種に指定

東京電力・福島第一原発事故

生物多様性基本法制定

アスベストが社会問題に

外来生物法制定

フロン回収破壊法制定

特別措置法制定

ダイオキシン類対策

家電リサイクル法制定

地球温暖化対策推進法制定

COP3(地球温暖化防止京都会議)開催

環境基本法制定

野生動物植物保存法制定

環境庁がレッドデータブック発行

豊島産廃問題が明らかに

ニ崎大気汚染公害訴訟

オゾン層保護法制定

西淀川大気汚染公害訴訟

土呂久ヒ素公害訴訟

六価クロム汚染事件

安中カドミウム公害訴訟

オイルショック

東京で光化学スモッグ被害が表面化

カネミ油症事件

阿賀野川流域で新潟水俣病が表面化

四日市ぜんそくが表面化

水俣病患者が公式確認される

富山県神通川流域でイタイイタイ病が発生する

広島・長崎に原爆が投下される

足尾銅山鉍毒事件について田中正造が国会で追求

2013

2011

2008

2005

2004

2001

1999

1998

1997

1993

1992

1991

1990

1988

1978

1975

1973

1972

1970

1968

1965

1961

1956

1945

1922頃

1891

2013

2010

2007

2006

2004

2001

1996

1994

1992

1989

1988

1987

1986

1985

1979

1977

1973

1972

1971

1960

1954

1952

1949

1945

IPCCが第五次報告書
第一作業部会報告書を発表

メキシコ湾岸原油流出事故

IPCCが第4次報告書発表

スターンレビュー発表される

環境活動家ワンガリ・マタイさんがノーベル平和賞受賞

残留性有機汚染物に関するストックホルム条約採択(ダイオキシン類)

COP3(地球温暖化防止京都会議)開催

京都議定書を採択

砂漠化防止条約採択

環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001定められる

地球サミット開催(リオデジャネイロ)

オゾン層保護のためのウィーン条約採択

ヘルシンキ議定書採択(酸性雨対策)

チェルノブイリ原発事故

オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書採択

ソフィア議定書採択(酸性雨対策)

バーゼル条約採択

長距離越境大気汚染条約締結(ジュネーブ・酸性雨対策)

国連砂漠化防止会議(ナイロビ)

ワシントン条約

ロンドン条約

ラムサール条約(水鳥と湿地の保護)採択

ベトナム戦争 枯葉剤が使用される

アメリカ 世界初の原爆実験に成功

ソ連 原爆実験に成功

アメリカ水爆実験に成功(ソ連は翌年成功)

核開発競争が激化する

ロンドンスモッグ事件

ビキニ環礁でアメリカ水爆実験

周辺島民・第五福竜丸が被爆

アメリカ 世界初の原爆実験に成功

ソ連 原爆実験に成功

アメリカ水爆実験に成功(ソ連は翌年成功)

核開発競争が激化する

ロンドンスモッグ事件

ビキニ環礁でアメリカ水爆実験

周辺島民・第五福竜丸が被爆

アメリカ 世界初の原爆実験に成功

ソ連 原爆実験に成功

アメリカ水爆実験に成功(ソ連は翌年成功)

核開発競争が激化する

ロンドンスモッグ事件

ビキニ環礁でアメリカ水爆実験

周辺島民・第五福竜丸が被爆

砂漠化防止条約

項目分類



詳細

砂漠化の深刻な影響を受けている国々の砂漠化を防止し、干ばつの影響を緩和する事を目的とした条約。

被害

食料生産基盤の低下、貧困の加速、都市部への人口集中、難民の増加、気候変動への影響等の被害があり、一度、乾燥地の生態系が損なわれると、元のとおりに戻させることは困難。

バーゼル条約

項目分類



廃棄物の越境移動

詳細

有機廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関する条約。

被害

廃棄物の越境移動は有害性が極めて高かったり、受入先の国で適正な処分がなされないケースが多く、環境汚染につながる。

ウィーン条約、モントリオール議定書、オゾン層保護法

項目分類



オゾン層破壊

詳細

オゾン層が破壊されると地上に届く有害な紫外線の量が増え、人体や動植物に悪影響を及ぼす。皮膚ガンや白内障等の疾患増加、免疫機能の低下による健康への影響、生態系への悪影響等。WHOでは、2002年に皮膚ガンへの影響を鑑み、日光浴の自粛を勧告したほど。

長距離越境大気汚染条約ヘルシンキ条約

項目分類



酸性雨

詳細

硫黄や窒素酸化物の排出量削減をするための条約。

被害

酸性雨は森林を枯らし、土壌の栄養成分を溶解・流出させてしまい湖沼等の酸性化も進行させ、生息する動植物に多大な影響を与える。地下水等にも浸透し、人の健康を害する恐れがある。

ワシントン条約レッドデータブック

項目分類



生態系の変化

詳細

特定の種の野生動物植物の輸出・輸入・輸送に関する条約。

被害

全ての生き物は食物連鎖等、密接な関係を持っており、一種の生物の絶滅は他の生物種にも連鎖的に悪影響を及ぼす。現在は人に直接、影響を与えない生物でも将来的に関わる可能性を十分に秘めている。

ロンドン条約

項目分類



海洋汚染

詳細

廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約。1972年に船舶、航空機からの廃棄物の海洋投棄を禁止。1996年に海洋投棄全般が禁止された。

被害

海洋汚染は海洋生物の生態系に大きな影響を及ぼし、日本人は特に水産物の消費が多いことから私達の日々のとりわけ食の安全が懸念される。

枯葉剤

原因物質

ダイオキシン類

項目分類

空中散布(大気汚染、植物被害)

症状

遺伝的影響、発がん性

詳細

ベトナム戦争において、約7,500tの枯葉剤を森林・農村・田畑に散布。農業の約百万倍の毒素を含み、人体への多大な影響をもたらした。

日本

世界